

バリエーション評価(Negative Factor)

誰の？	何時発生した要因？	理由は？	その結果	コード	バリエーション分類
患者さま要因(A)	入院前要因(1)	既往歴(a)	処置・対応の多様化	A-1-a	在院日数の遅延/退院目標の下方修正
		独居(b)	退院日の遅延	A-1-b	在院日数の遅延
		宗教(c)	手術日が遅れる/できない	A-1-c	在院日数の遅延/退院目標の下方修正
	受傷時要因(2)	副損傷の有無(a)	手術を含め処置の多様化	A-2-a	在院日数の遅延/退院目標の下方修正
	入院期間中要因(3)	続発症(a)	処置の多様化	A-3-a	在院日数の遅延/退院目標の下方修正
転/退院時要因(4)	保険・縁起担ぎ(a)	転・退院日の遅延	A-4-a	在院日数の遅延	

患者家族要因(B)	入院前要因(1)	不仲(a)	退院日遅延/退院困難	B-1-a	在院日数の遅延
		介護力不足(b)	退院日遅延/退院困難	B-1-b	在院日数の遅延
		宗教(c)	手術日が遅れる/できない	B-1-c	在院日数の遅延/退院目標の下方修正
	受傷時要因(2)	不在などのため発見が遅れる(同居の場合)(a)	手術日が遅れる/できないなど処置の多様化	B-2-a	在院日数の遅延/退院目標の下方修正
			受傷後続発症の併発など処置の多様化	B-2-a	在院日数の遅延/退院目標の下方修正
			既往症の悪化など処置の多様化	B-2-a	在院日数の遅延/退院目標の下方修正
	入院期間中要因(3)	介護保険などの公的サービスの申請が遅延(a)	退院日遅延	B-3-a	在院日数の遅延
生活環境の変化(配偶者の健康状態悪化、経済的破綻、)(b)		退院日遅延/退院困難	B-3-b	在院日数の遅延	
連絡がつかず家族側の対応が遅れた(なされなかった)(c)		退院日遅延	B-3-c	在院日数の遅延	
転/退院時要因(4)	都合が悪い(不在、仕事、行事など受け入れ側の都合があわず)(a)	転/退院日遅延	B-4-a	在院日数の遅延	

病院側要因(C)	入院前要因(1)	システム的な不備(検査・処方・マンパワー不足など)(a)	診断の遅れ、	C-1-a	在院日数の遅延/退院目標の下方修正
			手術日の繰り下がり	C-1-b	在院日数の遅延/退院目標の下方修正
			リハ処方の遅れ	C-1-c	在院日数の遅延/退院目標の下方修正
			情報の共有化が出来ない事による各部署相互の連携不足	C-1-d	在院日数の遅延
	受傷時要因(2)	誤診(見落とし、見誤り)(a) 初期対応のミス(誤診ではなく、適正な検査や処置がされなかった)(b)	手術日の遅延/処置開始の遅延	C-2-a	在院日数の遅延/退院目標の下方修正
			手術日の遅延/処置開始の遅延	C-2-b	在院日数の遅延/退院目標の下方修正
	入院期間中要因(3)	手術日の遅れ(a) 介護保険の紹介が遅れた(b) 医療上のミス(c) 家屋調査の不備(d)	転/退院日が遅れる	C-3-a	在院日数の遅延/退院目標の下方修正
退院日が遅れる			C-3-b	在院日数の遅延	
転/退院日遅延、退院困難			C-3-c	在院日数の遅延/退院目標の下方修正	
転/退院時要因(4)	転/退院手続きのミス(a)	退院日が遅れる	C-3-d	在院日数の遅延	
		転/退院日が遅れる	C-4-a	在院日数の遅延	

社会的要因(D)	入院前要因(1)	保険の種類(?) (a)	退院日が遅れる	D-1-a	在院日数の遅延
	受傷時要因(2)	保険の種類(労災・自賠責)(a)	退院日が遅れる	D-2-a	在院日数の遅延
	入院期間中要因(3)			D-3-a	
	転/退院時要因(4)	自宅退院の場合、介護サービスの開始時期/介護サービスの種類(a)	退院日が遅れる	D-4-a	在院日数の遅延
施設への退院の場合、施設の空き状況(b)		退院日が遅れる	D-4-b	在院日数の遅延	

その他(E)	入院前要因(1)			E-1-a	
	受傷時要因(2)			E-2-a	
	入院期間中要因(3)			E-3-a	
	転/退院時要因(4)			E-4-a	

バリエーション評価(Positive Factor)

誰の？	何時発生した要因？	理由は？	その結果	コード	バリエーション分類
患者さま要因(J)	入院前要因(1)	高い生活自立度(身体機能的に)(a) 低所得(入院費を抑えたい)(b)	独歩自立や応用歩行自立が早期獲得 早期退院希望	J-1-a J-1-b	在院日数の短縮 / 退院目標の上方修正 在院日数の短縮 / 退院目標の上方修正
	受傷時要因(2)	迅速な対応(a)		J-2-a	在院日数の短縮/退院目標の上方修正
		定期受診などにより事前に病態把握(b)		J-2-b	在院日数の短縮
	入院期間中要因(3)	高い回復意欲(a) 仕事上・家庭の事情(b)	独歩自立や応用歩行自立が早期獲得 早期退院希望	J-3-a J-3-b	在院日数の短縮/退院目標の上方修正 在院日数の短縮
	転/退院時要因(4)	保険・縁起かつぎ(a)		J-4-a	在院日数の短縮

患者家族要因(K)	入院前要因(1)	患者様に対して関心が高く協力的(a)	退院の早期化	K-1-a	在院日数の短縮
		豊富な介護力(大家族・親戚が近くに住んでいる)(b)	退院の早期化	K-1-b	在院日数の短縮
		子供などへの高い経済負担(子供が大学生など)(c)		K-1-c	在院日数の短縮
	受傷時要因(2)	迅速な対応		K-2-a	在院日数の短縮/退院目標の上方修正
	入院期間中要因(3)	家族の献身的介護・励まし(a)	退院の早期化	K-3-a	在院日数の短縮/退院目標の上方修正
転/退院時要因(4)	送迎日程調整の都合(a)		K-4-a	在院日数の短縮	

病院側要因(L)	入院前要因(1)	地域連携機能の十分(スムーズな転院、効率良い関わり)(a)	退院の早期化	L-1-a	在院日数の短縮
		スタッフの充実(b)		L-1-b	在院日数の短縮/退院目標の上方修正
	受傷時要因(2)	的確かつ迅速な対応(a)		L-2-a	在院日数の短縮
		rt-PAの導入(b)		L-2-b	在院日数の短縮/退院目標の上方修正
	入院期間中要因(3)	新しい術式の導入(a)	独歩自立や応用歩行自立が早期獲得	L-3-a	在院日数の短縮/退院目標の上方修正
		より効果的なリハビリの導入(b)	独歩自立や応用歩行自立が早期獲得	L-3-b	在院日数の短縮/退院目標の上方修正
		院内におけるより効率的連携関係の構築(c)		L-3-c	在院日数の短縮/退院目標の上方修正
		家族に対する十分なオリエンテーション及び対応(d)	退院の早期化	L-3-d	在院日数の短縮
	転/退院時要因(4)	バリエーション分析に対する有効な対応策の実施(e)	独歩自立や応用歩行自立の早期化/退院の早期化	L-3-e	在院日数の短縮/退院目標の上方修正
		退院の早期化	L-4-a	在院日数の短縮	
		退院の早期化	L-4-b	在院日数の短縮	

社会的要因(M)	入院前要因(1)	保険の種類(?) (a)		M-1-a	在院日数の短縮
	受傷時要因(2)	保険の種類(自賠責・労災)(a)		M-2-a	在院日数の短縮
	入院期間中要因(3)			M-3-a	
	転/退院時要因(4)	介護保険などの社会資源の充実(施設・訪問事業など)(a)	退院の早期化	M-4-a	在院日数の短縮

その他(N)	入院前要因(1)			N-1-a	
	受傷時要因(2)			N-2-a	
	入院期間中要因(3)			N-3-a	
	転/退院時要因(4)			N-4-a	